



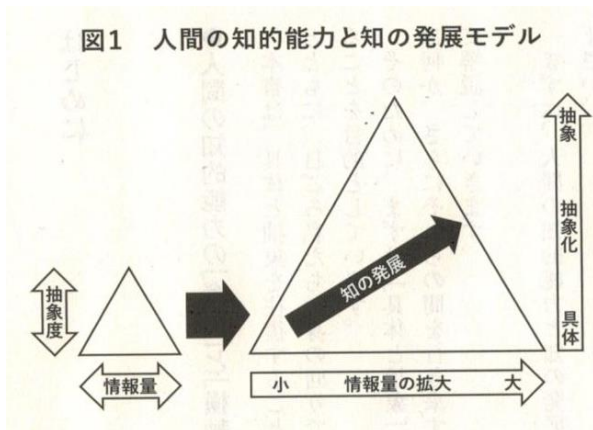
## 「具体⇄抽象トレーニング」を読みました！



5月になりましたが、お元気でしょうか。大阪は、3度目の緊急事態宣言中です。戦時中のことを思えば、宣言中の行動抑制なんか大したことではありませんが、我慢できない人が多いみたいですね。さて、今月は「**具体⇄抽象トレーニング 思考力が飛躍的にアップする29問**（PHP研究所、¥979、細谷功著）」をご紹介します！

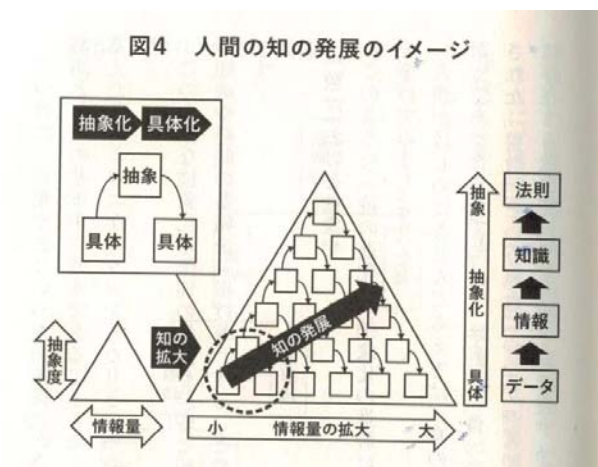
世の中において、「具体的は善、抽象的は悪」と思われています。あなたもそのように考えているのであれば、本書をお薦めします。刺激になりますよ～(笑)。

著者は、大手家電メーカーで技術者として勤務していましたが、外資系コンサルティング会社に転職。その後、コンサルタントとして独立しています。12～13年くらい前、著者が書いた「いますぐはじめる地頭力」という本を読みました。それよりも本書は、良い意味で「抽象化」されている印象を持ちました。



本書の内容を、お伝えするには誌面が足りません。なので、図解（抽象化）して説明します。図1は、知的能力について、情報量をよこ軸に、抽象度をたて軸にして表したものです。文章であれこれ言わなくても、この図表を見れば理解できるはず。大学受験は、知識を頭に詰め込むことであり、よこ軸である情報量の拡大になりますが、抽象度を高めることはできません。では、どうすればいいのか。

図4は「**具体→抽象→具体**」という作業によって、**知的能力を拡大できる**ことが理解できます。



知的能力と知の発展、さらに知の発展イメージを、事例を使って説明すると、相当な時間と文字数が必要になります。それを、図1と図4という形で**抽象化することにより、分かりやすく説明することができます**。「抽象化」することの効用をご理解していただけたでしょうか(笑)。

本書では抽象化のメリット・デメリット、具体化のメリット・デメリット、具体→抽象→具体する際のポイントを解説しています。本書は、人によって好き嫌いが出てくると思いますので、書店で現物を見てから買うかどうかを決めてください。